

令和7年度 芦屋市立精道中学校 グランドデザイン

◇校 訓 : 友愛 責任 寛容

◇学校教育目標 : 一人を大事に 一秒を大事に

今年度の重点目標

(1)これからの時代に必要とされる生徒の育成 (2)学習指導の充実と支援の工夫 (3)生徒指導の充実 (4)教職員の資質向上

【めざす学校像】

- 安全安心で、居場所のある学校
- 主体的な学びのある学校
- 家庭や地域から信頼される学校

【めざす生徒像】

- 命を大切に、互いを尊重し認め合える生徒
- なかまとともに夢に向かって歩み続ける生徒

【めざす教師像】

- 何事にも誠実に向き合う教師
- 専門性を活かし、向上心のある教師
- ワークライフバランスの視点を持ち心身ともに健康な教師



「確かな学力」の育成

- ・情報を活用し、自分で考える力の育成
- ・伝え合い、高め合う力の育成

「豊かな心」の育成

- ・思いを語りつなげる力を育む教育の推進
- ・自分も相手も大切にする心を育む教育活動の推進

「健やかな体」の育成

- ・基本的生活習慣の確立
- ・自らの成長に関心を持ち、心身ともに健康で過ごせる環境づくり

学習指導

- ・授業規律を大切に、基礎基本の定着と主体的に学ぶ態度の育成
- ・ICT 機器の効果的な活用の推進
- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導の工夫

人権教育

- ・平和教育の推進
- ・多文化やジェンダーなども含めた多様性を認め、尊重しあえる教育の推進
- ・いじめや差別に気づき、許さない心を育む教育の推進

生徒指導

- ・集団生活を通して、個々の生徒の「つなげる力」を育成
- ・いじめ等問題行動の未然防止と早期対応
- ・個々の状況に応じた適切な支援

特別支援教育:多様な教育ニーズに対応した指導の充実 支え合い認め合う関係の構築

総合的な学習:主体的に判断し、よりよく問題を解決する力の育成

キャリア教育:自分らしい生き方を実現するための力の育成

図書館教育:読書活動や自主的な学習活動の充実

ICT・情報教育:情報モラルや責任について考え、望ましい課題や目的に応じて活用する力の育成

国際理解・多文化共生:一人ひとりの違いを認め合い生きていこうとする考え方の育成

兵庫型学習システム:学力の定着や個性の伸長

健康安全教育:主体的に自他の安全な生活を実現しようとする態度の育成

防災教育: 実践的な避難訓練や「1.17 のつどい」などを通じた防災意識の育成

環境教育:学校施設を教材として活用し、環境に配慮した学校づくり 環境問題に対する意識を高め、行動に移す力の育成

食育:成長期にある生徒の心身の健全な発達の支援 給食を通して望ましい食習慣と好ましい人間関係の育成

学校・家庭・地域の連携

- ・学校、家庭、地域との連携と協力体制づくり
- ・「精中応援隊」や「東南会」をはじめとする地域との連携
- ・保育園・こども園、幼稚園、小学校、高校との連携
- ・学校運営協議会との連携・協働